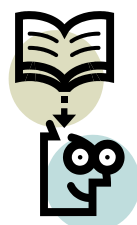


科 目 名	草花	単 位 数	2 単位	学 科 ・ 学 年	農業総合 科 1 年	
使 用 教 科 書	草花	実教出版	副 教 材 等			
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。 (2)草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3)草花の生産と経営について基礎的な意識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。					
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。					
	①知識・技能	草花栽培及び経営の各分野に関する基礎的・基本的知識が身についたかどうか評価する。				
	②思考力・判断力・表現力	草花栽培及び経営に関する諸問題について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、解決しようとする力がついたか評価する。				
	③主体的に学習に取り組む態度	学習した単元に対し強い興味関心を持ち、主体的に活動し、思考を深めようとする姿勢があるか評価する。				
		評価方法\観点	①	②	③	
		学習状況観察	○	○	◎	机間巡視及び科目「総合実習」と関連させた(③)取り組み状況
		プリント教材	○	—	—	補助プリント
		ワークシート	—	◎	○	ワークシートの評価
		ペーパーテスト	◎	○	○	定期考査
	※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					
履 修 上 意 の 注 意	草花栽培の基礎的な知識を身に付け、科目「総合実習」における実技理論も含めて学んでいく科目である。ノートをきちんと取り、積極的に授業に参加し、また「総合実習」で行う内容や授業外で見聞きしたことなども活かして取り組んで下さい。					

学期	学習内容	時数	学習のねらい	学習活動（評価方法）
1 学期	第1章 草花生産と消費の動向 1, 草花園芸の特徴 2, 草花生産と消費の動向 第2章 生活と草花の利用 1, 生活と草花の利用 2, 園芸デザイン	24	草花生産と経営の特徴を理解する。 草花にはどのような種類があるか学ぶ。 草花の生産形態の特徴を理解する。 草花生産と消費の動きを理解する。 草花の流通のしくみを理解する。 わが国における草花の生産と流通並びに生活の中での草花の利用形態について理解する。 わが国で生産・流通している各種の草花が、装飾材料や園芸材料として供給され、あらゆる生活場面で多様に利用されていることを理解する。	調べ学習を行いながら日本における生産動向、消費動向について学ぶ。 【学習状況観察】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】 写真やITCを利用しながら身近な例と関連付けながら生活の中に取り入れられた草花について学ぶ。 【学習状況観察】 【補助プリント】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】
2 学期	第3章 草花の特性と栽培技術 1, 草花の生育と環境 2, 品種改良と繁殖 3, 草花の生育と栽培技術	26	草花の生育の様子や、形態の変化を学びます。 草花の生育と環境要因との関係を理解する。 品種の重要性と品種改良の目的を理解する。 品種改良と繁殖の様々な方法を知る。 草花の生育環境と適切な栽培技術を理解する。	写真やITCを利用しながら生物の分野と関連付けながら草花の生育・環境、品種改良や繁殖について学ぶ。 【学習状況観察】 【補助プリント】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】 圃場の見学も行い実物を見ながら、生育環境と栽培技術について学ぶ。 【学習状況観察】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】
3 学期	4, 生産施設と栽培環境の調節	20	温室やハウスの施設・設備と資材の特徴を理解する。 施設・設備を使った栽培技術を習得する。	圃場の見学も行い実物を見ながら、施設・設備について学ぶ。 【学習状況観察】 【補助プリント】 【定期考査】 【総合実習の取り組み】
時間数計		70		

